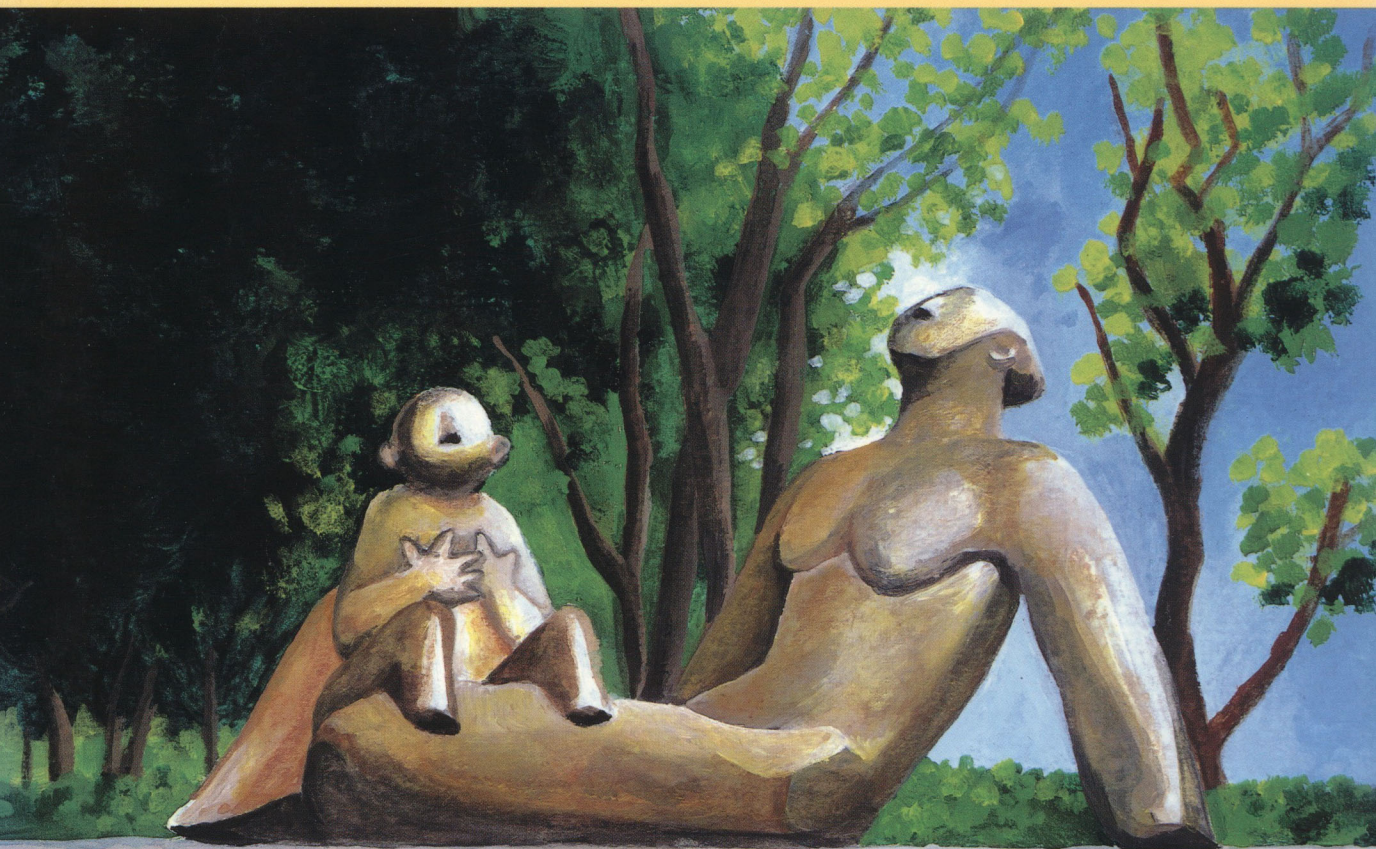


平和への祈りを次代へ

中野区民戦争体験記録集 第二集



平和の母

中野区

平和への祈りを次代へ

中野区民戦争体験記録集 第二集

憲法擁護・非核都市の宣言

まちには こどもの笑顔がある
ひろばには 若者の歌がある
ここには 私たちのくらしがある

海を越えた かなたにも
同じ人間の くらしがある

いま 地球をおおう 核兵器は
あらゆる いのちの営みを
この しあわせを 奪い去る

私たちの憲法は
くらしを守り 自由を守り
恒久の平和を誓う

私たちは この憲法を大切にし
世界中の人びとと 手をつなぎ
核をもつ すべての国に
核兵器をすてよ と 訴える

この区民の声を
憲法擁護・非核都市 中野区の
宣言とする

昭和57年8月15日

中 野 区

中野区民戦争体験記録集の発刊によせて

中野区長 神山好市

中野区では、平和を願う多くの区民の声を受け、昭和五七年に「憲法擁護・非核都市の宣言」を行い、国内外の諸都市との平和交流などを通して核兵器廃絶を広く訴えてきました。平成二年には「中野区における平和行政の基本に関する条例」を制定し、平和展、平和のつどいの開催や被爆地・広島への「親子平和の旅」を実施するなど、平和行政の推進に努めてきました。

世界は、冷戦・対立から協調へと流れが大きく変化し、国連を中心とした話し合いによる平和解決の道が模索されるようになりました。しかし、地域紛争や民族紛争が世界各地で頻発しており、幾多の貴重な人命が失われているのが現状です。また、依然として核兵器は、人類の生存を脅かす私たちの身近な脅威として存在しています。

二〇世紀は戦争と言う愚かな行為により、今までの歴史を振り返っても例のないほど、さまざまな傷痕を残した時代でもあります。そして、残念ながら世界は今も、武力による紛争が続いており、戦争の悲惨さは決して過去のものとはなっておりません。

中野区でも昭和二〇年の大空襲を始め、戦争によって大きな被害を受けましたが、戦後五〇年になろうとする今、世代交代が進み、戦後生まれの区民が六割を占めるようになり、戦争がもたらした数々の惨禍もしだいに忘れ去られようとしています。

このようなときにこそ、多くの尊い犠牲によってもたらされた現在の平和を享受している私たちは、二一世紀を担う次代の若い人たちに戦争の愚かさや悲惨さを伝え、戦争のない平和な世界の実現に努める責務があると思います。そこで、平和の意義を再認識し、平和な社会の実現に向け、昨年につき区民の方々の戦争体験を、中野区民戦争体験記録集としてまとめ、第二集として発行することにしました。この体験記が多くの方々に読まれ、永く伝えられていくことを願っております。

最後にご投稿いただいた方々のご協力に心から感謝申し上げます。

凡例

本書に収録した体験記は、いずれも原文を尊重したが、編集の都合上、次のような補正をした。

- ① 漢字は、原則として常用漢字を用いたが、固有名詞・戦争用語などについては、常用漢字表にない漢字も用いた。かなづかい・送りがないについては、できただけ現代かなづかいに改めた。
- ② 明らかな誤字・脱字・当て字は訂正し、句読点のないものには、これをほどこした。
- ③ 段落のないもの、あるいは段落の極端に少ないものについては、原文を尊重しながら段落を設けた。
- ④ それぞれの体験記には表題をつけ、氏名・町名を掲げた。なお、表題を指定してある場合は、これに従った。
- ⑤ 枚数超過・内容重複などの場合は、原文の一部を削除したこともある。
- ⑥ 記述については、原文尊重を原則としたため、当時使用されていた用語で不適切と思われる言葉についても、あえて原文のまま掲載したものもある。

目次

憲法擁護・非核都市の宣言

中野区民戦争体験記録集の発刊によせて

凡例

従軍体験

従軍体験	高瀬梅吉	10
野戦作井第二〇中隊の最後	高橋喜久雄	14
「学徒出陣」の飛行機乗りと少年航空兵	藤原義信	21
シベリヤ収容所	大星浄	24
飛行艇対B17(空の要塞)一騎打ち	日辻常雄	28
我が青春の戦史	齋藤清	32
兵站自動車第三中隊、中支戦線に行く	中村善紀	36
青春と戦争	田中成雄	41
北支山西省駐屯記	高見沢昇	44
軍隊における我が足跡	信澤瑞吉郎	47

表紙絵・挿絵
鈴木真理画

爆弾を抱えた十日間	皆川太郎	50
船の葬式	田淵清	54

銃後の生活体験

あゝ青春に悔あり 学生残酷物語	兼子玲子	60
追想	奥田喜代子	65
学童疎開の思い出	小澤三郎	71
戦争体験記	友野麗子	74
サクランボは涙の味	長谷川乃布子	77
四八年目の卒業式	花澤怜子	80
縁故疎開の思い出より	中村正雄	84
紫雲寺―集団疎開日記帳から―	木下務	87
戦争の悲惨さと私の青春時代の思い出	福島銀子	90
学童疎開	古田京子	93
みんなが大変だった時	北村長子	95
私の見た戦争と学童疎開の体験	安部房子	97
戦時戦後を想い出して	平間愛子	100

銃後の生活……………	寺谷美喜子	102
太平洋戦争下の庶民生活……………	斎藤鉉一	104

空襲

私の戦争体験記……………	小杉正雄	110
きょうちくとうの花……………	児玉和子	114
三月十日大空襲の前後……………	金田君子	116
火の海を泳いで……………	加藤千枝子	120
大きな戦争の傷跡……………	箱崎正美	123
平和の時代が来た——続——……………	澁谷榮一	125
私の戦争体験……………	村井正治	129
橋上の地獄……………	加藤茂	132
私の戦争体験……………	坂口志津	136
空襲による恐怖の一夜……………	丸岡一志	138
バラック生活……………	森久保良子	140
空襲当夜……………	寺谷美喜子	142
私の五月二五日……………	武山とみゑ	144

父の戦争体験……………高橋晴樹 147

終戦前後

終戦前後……………	井上すみ子	152
終戦——復員当時の思い出……………	村松盛雄	155
敗戦を回顧しながら……………	長嶋安男	158
戦前戦後の私の青春……………	大西洋好	161
きのこ雲のそばで……………	岩田京子	163
シベリヤ抑留体験者の手記——大興安嶺の悲劇とシベリヤ収容所の重労働……………	足立芳郎	166
ソ連兵の暴虐……………	吉田勝	169
私の戦争体験から得られたもの……………	大高俊昭	172
私の戦争……………	園田壽子	175
その時わたしは……………	永井緑	179
私の戦争体験の一つ——きのこ雲の原型を見た……………	田中純子	182
昭和ひとケタ族の戦争体験……………	岩佐貞彦	186